|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名 | 自然を生かした「癒しの空間」によるまちづくりプロジェクト |
| 実施主体（市町村） | 津別町 |
| 支援期間 | 平成２１年度～平成２３年度 |
| 格差の分野 | 地域経済の格差 |

**課題・問題点**

・認知度、集客対策について

|  |
| --- |
| 森林セラピーの認知度の向上。  事業継続のための集客対策（ＰＲ）。 |

・ガイドの質の向上について

|  |
| --- |
| ＮＰＯ法人活動の支援（ガイドの質の向上）。 |

**課題解決に向けた取組**

・認知度、集客対策について

|  |
| --- |
| 団塊の世代や「山ガール」などを対象とした小規模ツアーや夏場以外の観光客誘致運動の展開等。 |

・ガイドの質の向上について

|  |
| --- |
| アウトドアガイド資格者に対する「森林セラピーガイド」資格取得研修の実施。 |

**その他特記事項**

・アドバイザーからの助言などについて

|  |
| --- |
| ・食や暮らし方、林業を活かした生活家具といった面にも目を向けて取り組むのも一つの手法。  ・地域の森の態様も素晴らしいので、どんな森林であるとか、森林の恩恵を受けながらこういう暮らしができる等、もっとＰＲすることも大事。広い意味での環境教育にもなる。  ・グリーンツーリズムや食育という面からもＰＲしてはどうか。 |